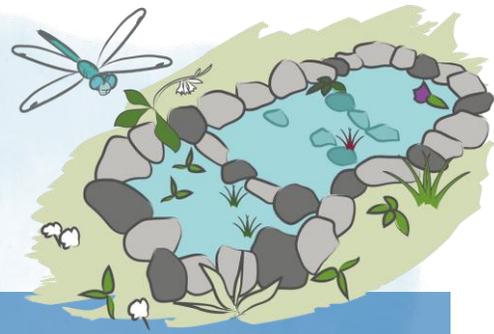


加賀電子ビオトープ NEWS

- 第5号 - 2024年7月の調査報告



* TOPIC *



ビオトープで観察イベント!

加賀電子ビオトープで、学習会&観察会を行いました!

5組のご家族に参加いただき、ビオトープと野生生物について学びました。今年はヤゴの羽化のタイミングが早くて捕獲数が少なかったですが、いくつかの生物を見ることができました。

* 今回の調査で見つかった生きもの *



ホルバートケシカタビロアメンボ



アダンソンハエトリ



サンカワイ



カンガレイ



キマダラカメムシ

完成から1年2ヶ月が経過し、当初からは考えられないほどビオトープの中の植物が増えました。水面が全く見えなくなり、一部取り除かなければならないほどです。そんな中、今回はホルバートケシカタビロアメンボという昆虫を確認しました。体長1.5mm前後と極小サイズのアメンボの仲間で、よく目を凝らさないと見つけれられません。ぜひ探してみてください。

* COLUMN *



ビオトープにやってきたイトトンボ

今年7月の調査で、ようやく種類が確定したアジアイトトンボ。いったい、どこからやってきたのでしょうか?華奢な見た目からもわかるように、本種の飛翔能力はそれほど高くありません。過去の研究で、飛翔できる距離は1.2km程度と判明しています。加賀電子ビオトープから1.2km以内の水辺としては、神田川と不忍池があります。アジアイトトンボのヤゴは水草を必要とすることから、不忍池が彼らの故郷である可能性が高そうです。



調査・監修
NPO birth 久保田 潤一

これからも地域の自然を大切に、人と自然がずっと仲良く暮らしていける社会を作っていきましょう!

発信:加賀電子(株)サステナビリティ推進部